

今日で長かった2学期も終わりです。2学期には南中祭文化の部や人権コンサート、遠足、合唱コンクールなどたくさんの行事がありました。また生徒会や委員会活動においてもそれぞれ目的を持って取り組んでいました。

まさに、学校スローガンにある「互いの良さを認め合い勇敢に夢に、目標にチャレンジ！」した2学期でした。

皆さんが、一つ一つの行事や日々の学習、部活動に全力を注ぎ、ひたむきに頑張る姿を見て、とても頼もしく感じています。

さて、各学年の東階段を上ったところに、学年主任の先生からのメッセージがあります。12月は、どんなことを書いてあるか覚えていますか？

1年生の掲示板には、「みんなでつくろう素敵な空気感・みんなで時間を意識した行動を！・みんなで過ごす空間をみんなの行動で快適にしよう。」とあります。

2年生の掲示板には、「各高校が求める生徒像」として、「他者とのコミュニケーションができる生徒・周りの人々を大切にできる生徒・時間を守り、挨拶や日々の清掃活動ができる生徒」が挙げられています。

3年生は、いよいよ受験が迫っていることもあり、「ケタ外れの努力が本当の努力」として、ケタ外れの努力をしたお釈迦様の弟子である周利槃特（しゅりはんどく）僧侶について、「自分自身を知り、小さな努力でも、徹底して継続して行く事が、いかに大切であるか」を示すエピソードが紹介されています。そして「2学期が終わり3学期につながる12月。ケタ外れにやりましょう！」と呼びかけがあります。

今紹介したのは、各学年の生徒に向けたメッセージですが、同時にどの学年の生徒にとってもそして、私たち大人にとっても、学びの多い、そして自分の行動を振り返ることにつながる内容だと思えます。

私自身、階段を上りながら、「ケタ外れの努力できているかなあ、さわやかな挨拶ができているかなあ、周りの人への思いやりを持って、あたたかい言葉をかけているかなあ、素敵な空気感をつくる行動ができているかなあ」と自分の行動を振り返る機会をいただきました。また行動を振り返ることで、前向きに頑張ろうという気持ちになれました。

セルフコントロールのきっかけとなるメッセージを掲示してくれた各学年主任を始め先生方に感謝します。

いよいよ明日から17日間の冬休みに入ります。みなさんはこの17日間を、どのように過ごしますか？

時間だけは誰にも平等に与えられていると言われる一方で、時間には限りがあるとも言われます。その貴重な時間を、どう使うかをしっかり考えましょう。皆さんがそれぞれ、目標に向かって、自分史上最高の努力ができる冬休みにしてほしいと思います。

それでは、令和6年1月9日に、全員が元気に3学期始業式を迎えられることを願い、2学期終業式の式辞とします。

南部中学校長 滝川 尚



